

# 2022年度 第2回コンクリート常任委員会

## 議事録（案）

日時：2022年7月12日（火）14：00～16：00

場所：Web+土木学会会議室のハイブリッド会議

出席者：下村委員長，山本幹事長

綾野，石田，岩城，岩波，上田，内田，鎌田，河合，岸，河野，古賀，小林，坂井，菅俣，杉山，玉井，津吉，永元，二羽，濱田，原田，平田，本間，松田，丸屋，森川，山口，山路の各常任委員  
大島，加藤，田所，細田，前田の各常任委員兼幹事  
飯野（事務局）

### 配布資料：

- 2-0 令和4年度 第2回コンクリート常任委員会 議事次第
- 2-1 2022（令和4）年度 第1回コンクリート常任委員会議事録（案）
- 2-2 規準関連小委員会（102委員会） 委員変更
- 2-3 暑中コンクリートの設計・施工に関する研究小委員会（253委員会） 委員構成
- 2-4 カーボンニュートラルに向けたコンクリート分野の新技术活用に関する研究小委員会（234委員会）  
委員変更
- 2-5 高強度繊維補強セメント系複合材料の構造利用研究小委員会（254委員会） 委員変更
- 2-6 腐食抑制型表面含浸材のコンクリート中の鋼材に対する腐食抑制効果の評価試験方法（修正案）
- 2-7 ひび割れ透水試験によるコンクリート構造物用自己治癒充填材の止水性の評価方法（修正案）
- 2-8 2022年度コンクリート委員会一般会計予算執行状況（案）
- 2-9 部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会（357委員会） 委員変更
- 2-10 3Dプリンティング技術の土木構造物への適用に関する研究小委員会（364委員会） 委員変更

### 議事：

#### 0. 事務局の交代

山本幹事長より，事務局が飯野さんに交代した旨の報告がなされた。

#### 1. 委員長挨拶（下村）

下村委員長より，挨拶があった。安倍元首相の銃撃事件について触れ，平和で安全安心な社会は人々の基本的な願いであるにも関わらずその実現は難しいことを痛感した。我々コンクリートに携わる者はより良いコンクリート構造物を提供することが，安心安全な社会の実現に貢献することを信じ，目の前の課題に真摯に取り組むことが使命であるとあらためて思う。

#### 2. 2022年度 第1回コンクリート常任委員会議事録の承認【資料2-1】

山本幹事長より，2022年度第1回コンクリート委員会常任委員会の議事録（案）の説明があり，異議なく承認された。補足として，233委員会の報告書は技術シリーズにはならないが土木学会のHPで閲覧でき，次回の常任委員会で一宮委員長に報告してもらった旨の説明がなされた。

### 審議事項：

#### 1. 第1種・第2種委員会の委員構成【別紙資料】

##### (1) 規準関連小委員会（102委員会）【資料2-2】

下村委員長から，規準関連小委員会の委員変更について説明がなされ，異議なく承認された。

##### (2) 暑中コンクリートの設計・施工に関する研究小委員会（253委員会）【資料2-3】

下村委員長から，暑中コンクリートの設計・施工に関する研究小委員会の委員構成について説明がなされ，異議なく承認された。細田委員長から，温度ひび割れの検討も含むとの説明がなされた。

##### (3) カーボンニュートラルに向けたコンクリート分野の新技术活用に関する研究小委員会（234委員会）【資料

## 2-4】

下村委員長から、カーボンニュートラルに向けたコンクリート分野の新技术活用に関する研究小委員会の委員変更について説明がなされ、異議なく承認された。

### (4) 高強度繊維補強セメント系複合材料の構造利用研究小委員会（254委員会）【資料2-5】

下村委員長から、高強度繊維補強セメント系複合材料の構造利用研究小委員会の委員変更について説明がなされ、異議なく承認された。

## 2. 規準案の審議【別紙資料】

### (1) 腐食抑制型表面含浸材のコンクリート中の鋼材に対する腐食抑制効果の評価試験方法（修正案）【資料2-6】

上田規準関連小委員会委員より、腐食抑制型表面含浸材のコンクリート中の鋼材に対する腐食抑制効果の評価試験方法（修正案）について説明がなされ、以下の意見を踏まえた修正を幹事団で確認後、常任委員でメール審議することとなった。

- ・「塩害劣化コンクリート」や「試験体中鋼材」の用語を見直す。
- ・JIS A 1132は改正されて項番号が変わっているため、最新版の番号に修正する。

### (2) ひび割れ透水試験によるコンクリート構造物用自己治癒充填材の止水性能の評価方法（修正案）【資料2-7】

山口規準関連小委員会委員より、ひび割れ透水試験によるコンクリート構造物用自己治癒充填材の止水性能の評価方法（修正案）について説明がなされ、以下の意見を踏まえた修正を幹事団で確認後、常任委員でメール審議することとなった。

・ひび割れからの漏水が、構造物の外側からなのか内側からなのか、両方なのかがわかるような表現にする。漏水は、基本的には構造物から外に漏れる水を意味していると思われる。

・自己治癒充填材の定義について、ひび割れからの漏水を止めることに限定されるというような誤解を招かないような表現にする。

・汲み置きした水と水道水との試験結果に差がないということだが、条件によっては差が生じると考えられる。24時間以上静置するので規準としては問題ないと考えられるが、条件を教えてください。

→国枝規準関連小委員会委員より、岸委員に回答する。

## 報告事項：

### 1. 2022年度コンクリート委員会予算執行状況（案）【資料2-8】

山本幹事長より、2022年度の予算執行状況について報告がなされた。

### 2. 第3種委員会の委員構成【別紙資料】（司会）

#### (1) 部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会（357委員会）【資料2-9】

山本幹事長より、357委員会の委員変更について報告がなされた。

#### (2) 3Dプリンティング技術の土木構造物への適用に関する研究小委員会（364委員会）【資料2-10】

山本幹事長より、364委員会の委員変更について報告がなされた。

### 3. 講習会、成果報告会の開催報告（司会）

#### (1) コンクリート教育研究小委員会（201委員会）公開座談会の開催報告

細田幹事より、201委員会公開座談会の開催報告があり、動画配信や委員会HPを作成中である旨の説明がなされた。第3回は8月9日、第4回は9月12日開催予定との報告がなされた。

#### (2) 国際ウェブセミナーFrontiers of Concrete Technology, -Application of X-ray Computed Tomography for Concrete Durability Research- の開催案内

大島幹事より、9月2日の講習会の開催について報告がなされた。

### 4. その他

#### (1) 部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会（357委員会）活動期間延長

山本幹事長より、357委員会の活動期間延長について報告がなされた。

#### (2) コンクリート中への水分浸透評価とその活用に関する研究小委員会（362委員会）活動期間延長

山本幹事長より、362委員会の活動期間延長について報告がなされた。

**次回開催：**

日時：9月13日（火）14：00～ Web会議+京都市内会議室のハイブリッド会議

ただし、全国大会の現地開催か否かの結果により決定する。会議室の規模を検討するため、出欠（現地参加 or オンライン参加）を早めに伺う。

議題：幹事宛8月29日（月）までに